

令和4年3月25日

令和3年度 修了式あいさつ

- みなさん、おはようございます。校長の都丸です。本日は、令和3年度の修了式です。私から2つのことについてお話させていただきたいと思います。
- 一つ目ですが、昨年度の修了式は、同じく3月25日で、緊急事態宣言が解除され、今後は、引き続きマスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス、そして三密をさけて行動を取るようお願いをしました。今年度は、まん延防止期間が解除となった後の修了式となりました。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響によって、学校生活は様々な対応を求められました。分散登校や短縮授業、学校行事の延期、中止など、計画されていたことが中々思いどおりに進まなかったと思います。
- 毎日学校に登校することは、皆さんの中でルーティーンになっていることです。人は、ルーティーンが崩れると精神的に不安になると言われています。
- そうしたルーティーンが崩れ、不安になっていた中で、年度末の修了式を無事に迎えられた皆さんは、本当によく頑張ったと思います。
- 感染症はまだ収束したわけではありません。来年度も間違いなく感染症の影響があると考えています。しかし、丸2年を感染症とともに過ごしている訳ですから、来年度は、たとえ感染症の影響があったとしても、一歩でも二歩でも前に進むよう、一つでも二つでも新たなことにチャレンジし、1年間を充実させていきましょう。
- そのために、感染症と共存しながらどのように生活していくのかについて、この春休み期間で是非とも考えて計画づくりをしてもらいたいと思います。
- 二つ目です。この1年間、学校からは、紙媒体による通知、Googleclassroom やまち comi による配信など、様々な情報を提供させていただきました。
- 皆さんは、そうした情報をもとに、明日あるいは来週の学校や行事がどのようなになっているのか、どのように変更になっているのかなど、その情報によって行動していたと思います。
- そうした提供された情報を皆さんは、正しい情報としてどのように見分けたのでしょうか。もちろん、Googleclassroom については、学校から提供されたアドレスで登録しているので、間違いなく学校からの配信と分かります。
- また、まち comi も学校の QR コードで読み込み登録したものですので、間違いなく学校からの配信であることがわかります。
- 安全で、信頼できる情報であるとわかっているからこそ、何も気にせず、疑わずに行動していたと思います。

- 先日、東北地方で地震がありました。神奈川県も大きく揺れて心配になったでしょう。テレビのニュースでは、速報として、放送局内が揺れている映像が流れたりもしていました。誰もがそのニュースや映像を信じ、その情報をもとにどのような行動をするのかを考えたと思います。
でも、私のスマホは緊急地震速報が鳴りませんでした。
- では、そのテレビのニュースは本当に正しいのか。と考えてみてください。日ごろから皆さんが利用しているインターネットや、SNS で送られてくる情報は、どうでしょうか。
- 信用できる確かな情報なののでしょうか。また、もし信用できるとすると、その根拠はどこにあるのでしょうか。
- 皆さんも既に知っていることとは思いますが、現在、他国では、国同士が争う、悲しい出来事が起こっています。そして、そこにはフェイクニュースといったものが流れているようです。情報戦略だそうです。
- どの情報が正しいのか、どの情報を信用して自らの意見を持つのか。どのように行動するのか。とても難しい時代にあります。
- 今後、このような状況はたくさん起こってきます。多くの情報を読み解き、情報を整理し自身の考えを持つためには、知識を持つことが必要となります。そのためにも、高校生活でしっかりと学ぶようにしてもらいたいと思います。
- そこで、改めて、次年度に向けて学校生活や、学習にどのように取り組んでいくのかについても、春休み期間で考えてもらいたいと思います。
短い期間ではありますが、自らを見つめなおし考える時間を作ってください。
- 4月にはまた皆さんの明るい笑顔が見られることを楽しみにしています。